

# 雨水流出抑制施設設置計画書

年 月 日

多治見市長

開発事業者 住所（所在地）  
 氏名（名称及び代表者氏名）  
 連絡先  
 代理人 住所  
 氏名  
 連絡先

印

印

以下のとおり、雨水流出抑制施設を設置します。

設置場所	多治見市			
開発面積	m <sup>2</sup>	工期	年 月 日 ~	年 月 日

工 種	屋根	道路（舗装した駐車場を含む。）	その他の不透面（田を含む。）	水面	間地（畑を含む。）	芝・樹木の多い平地	勾配の緩い山地	勾配の急な山地	計
流出係数	0.90	0.85	0.80	1.00	0.20	0.15	0.30	0.50	
開発前土地利用状況(m <sup>2</sup> )									
開発後土地利用計画(m <sup>2</sup> )									

	総括流出係数	流出量 = 1/360 × 総括流出係数 × 142mm/h × A (ha)		
開発前		Q2 =	対策量①	(Q1 - Q2) × 60 × 60 = m <sup>3</sup>
開発後		Q1 =	対策量②	270 × A = m <sup>3</sup>

対策量① \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>    対策量② \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>    対策量の多い方を必要対策量とする  
 ∴ 必要対策量 = \_\_\_\_\_ m<sup>3</sup>以上

工 事 の 概 要				
	施設の名称	形状寸法	数 量	対策量
雨水貯留施設				m <sup>3</sup>
				m <sup>3</sup>
合計（=実施対策量）				m <sup>3</sup>

添付図書 ①位置図(縮尺 1/10,000 以上) ②計画平面図(縮尺 1/1,000 以上) ③構造図  
 ④対策量の計算根拠 ⑤その他 ( )

※印の欄には、記入しないでください。

※受付番号

